

WE'RE FOR CREATORS™

2023年12月期 第3四半期 決算補足説明資料

2023年11月13日

zoom®

株式会社ズーム

(ご注意) 本資料の将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が内在しております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Sound Service Groupの連結子会社化及び円安により大幅な増収、円安効果により増益

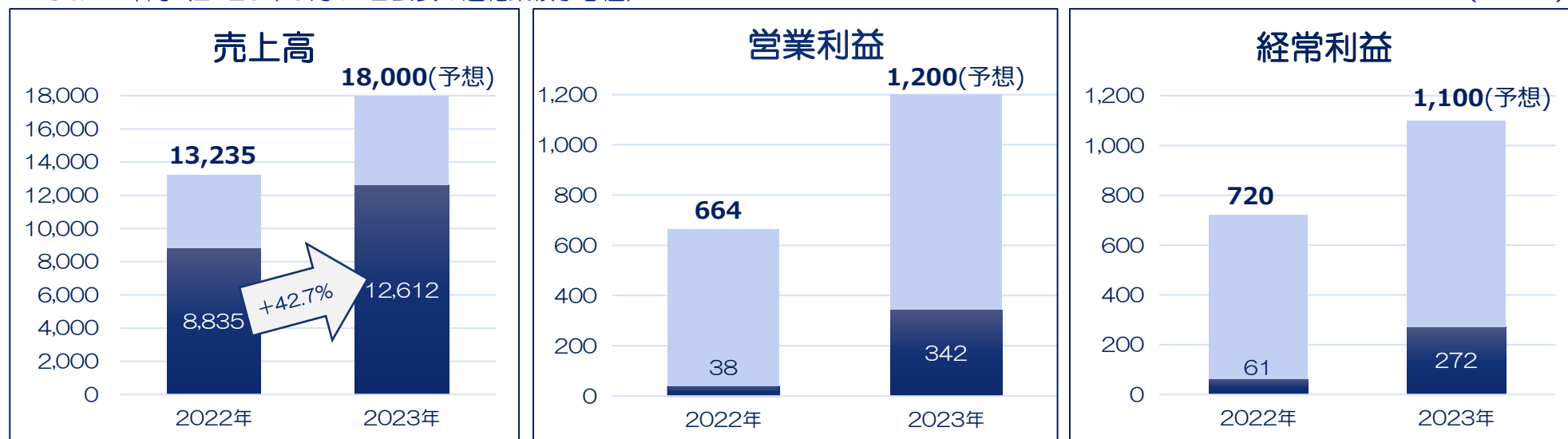
2023年第3四半期連結業績

売上高	:	12,612百万円	(前年同期比	+3,777百万円)
営業利益	:	342百万円	(前年同期比	+ 304百万円)
経常利益	:	272百万円	(前年同期比	+ 210百万円)

- 前年同期に比べて円安に推移したことに加え、Sound-Service Musikanlagen-Vertriebsgesellschaft mbH（以下、Sound Service社）及びその子会社であるSound Service MSL Distribution Limited（以下、Sound Service MSL社。両社合わせてSound Service Group）を2023年1月に連結子会社化したことにより、大幅な増収及び増益

■ 3Q ■ 年間（2023年8月10日公表の連結業績予想値）

(百万円)



2023年12月期 第3四半期 連結損益計算書（要約）



（百万円）

	2022.12期 第3Q実績	2023.12期 第3Q実績	増減額	摘要
売上高	8,835	12,612	3,777	・主としてSound Service Groupを2023年1月に連結子会社化したことにより増加
売上総利益 （売上総利益率）	3,341 (37.8%)	4,931 (39.1%)	1,590	・売上総利益率が相対的に低いフックアップの売上シェア低下（決算期変更） ・売上総利益率の高いSound Service Groupの連結子会社化 ・なお、連結子会社化に伴い、同社の在庫に含まれる未実現利益控除額が増加している（356百万円増。初年度一時費用）
営業利益 （売上高営業利益率）	38 (0.4%)	342 (2.7%)	304	・Sound Service Groupの連結子会社化によるのれん償却費が販管費に158百万円含まれる
経常利益 （売上高経常利益率）	61 (0.7%)	272 (2.2%)	210	・Sound Service社株式取得資金のシンジケートローン手数料を62百万円計上
親会社株主に帰属する四半期純利益 （売上高四半期純利益率）	▲44 (▲0.5%)	▲81 (▲0.7%)	▲36	・のれん償却費に節税効果がないことや、Mogar社、Sound Service Groupの利益に非支配株主持分(175百万円)が生じるため、経常利益より354百万円減少
EBITDA	364	954	590	・のれん償却費の増加 EBITDA＝営業利益＋※減価償却費
減価償却費 研究開発費 為替差損益	※326 742 30	※611 674 28	285 ▲67 ▲1	※のれん償却費322百万円（前年同期153百万円）を含む
平均為替レート（円／米ドル）	128.0円	138.1円	+10.1円	

他社ブランド

- Mogar取扱いブランド
- フックアップ取扱いブランド
- Sound Service取扱いブランド

Other (Audio Interface、Vocal processor、Microphone、Accessories)

UAC-232



独自のデュアルAD回路と32bitフロート録音技術により、ゲイン調整不要で最高品質のレコーディングができるオーディオ・インターフェース

Handy Video Recorder



Q8n-4K

ミュージシャンのための高音質4Kカメラ

Multi Effector



G2X FOUR

ギターの表現力を大幅に広げるエクспレッションペダルを装備したマルチエフェクター

Handy Audio Recorder



H6 BLACK

6種類の交換マイクカプセルで、ポッドキャストから音楽、映像プロダクションなど、いつでも頼りになるプロ音質のハンディレコーダー

Professional Field Recorder



F8n Pro

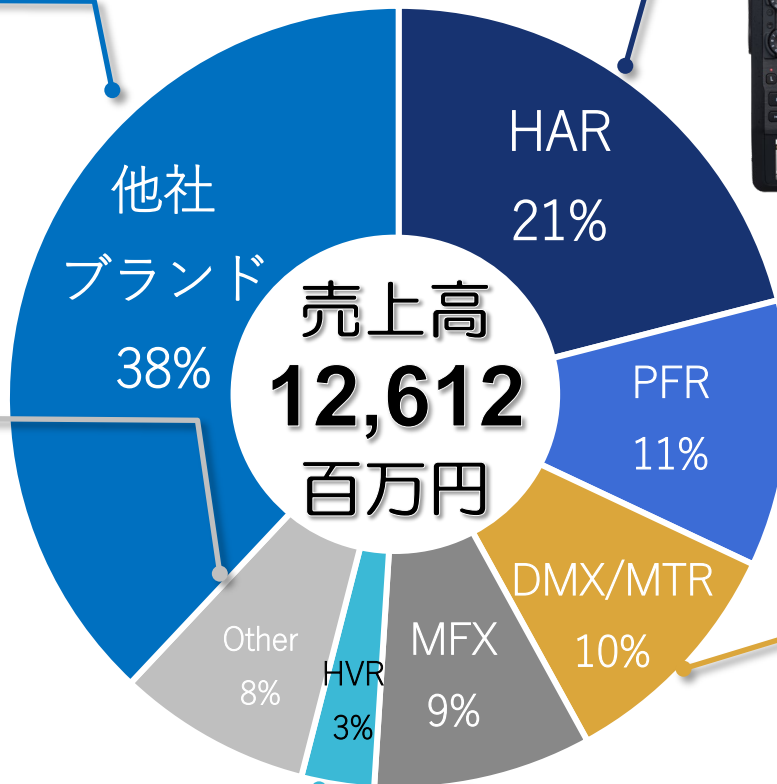
様々な撮影現場で、大音量から極めて静かな音まで最高のクオリティで歪みなく録音可能なフィールドレコーダー

Digital Mixer / Multi Track Recorder



L-8

音質の良さはもちろん、BGMを流したり、電話出演のゲストを招き入れたり、ポッドキャスト番組の収録やライブ演奏のミキシングが手軽に行えるライブミキサー&レコーダー



Sound Service Groupの連結子会社化により多くのカテゴリーで売上が増加

(百万円)

	2022.12期 3Q実績(シェア)	2023.12期 3Q実績(シェア)	増減額	売上高の増減要因
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	2,583 (29%)	2,707 (21%)	124	・ Sound Service Groupの連結子会社化及び円安効果があったものの、既存モデルの需要が一巡したことにより売れ行きが鈍化
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	827 (9%)	1,397 (11%)	570	・ Mシリーズの新製品効果 ・ Fシリーズの売れ行きが好調
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー (DMX/MTR)	964 (11%)	1,312 (10%)	347	・ 半導体不足が解消されたことによりLシリーズの売上が増加
マルチエフェクター (MFX)	922 (10%)	1,118 (9%)	196	・ G2 FOUR、G2X FOURの新製品効果 ・ G1X FOURの売れ行きが好調
ハンディビデオレコーダー (HVR)	445 (5%)	417 (3%)	▲28	・ コロナ禍でWEBカメラとしての需要があったことによる反動減が継続
その他	744 (9%)	893 (8%)	149	・ V3及びZDM-1PMPの売れ行きが好調 ・ UAC-232の新製品効果
Mogar取扱いブランド	761 (9%)	811 (6%)	50	・ 円安により売上が増加
フックアップ取扱いブランド	1,587 (18%)	1,084 (9%)	▲502	・ 前年同期は売上を12ヶ月分を計上した一方、当期は9ヶ月分を計上したため減少
Sound Service取扱いブランド	-	2,868 (23%)	2,868	・ Sound Service Groupの連結子会社化により、同社が取扱うZOOM製品以外の売上をSound Service取扱いブランドに計上
合計	8,835	12,612	3,777	

Sound Service Groupの連結子会社化により中央ヨーロッパの売上が大幅に増加

(百万円)

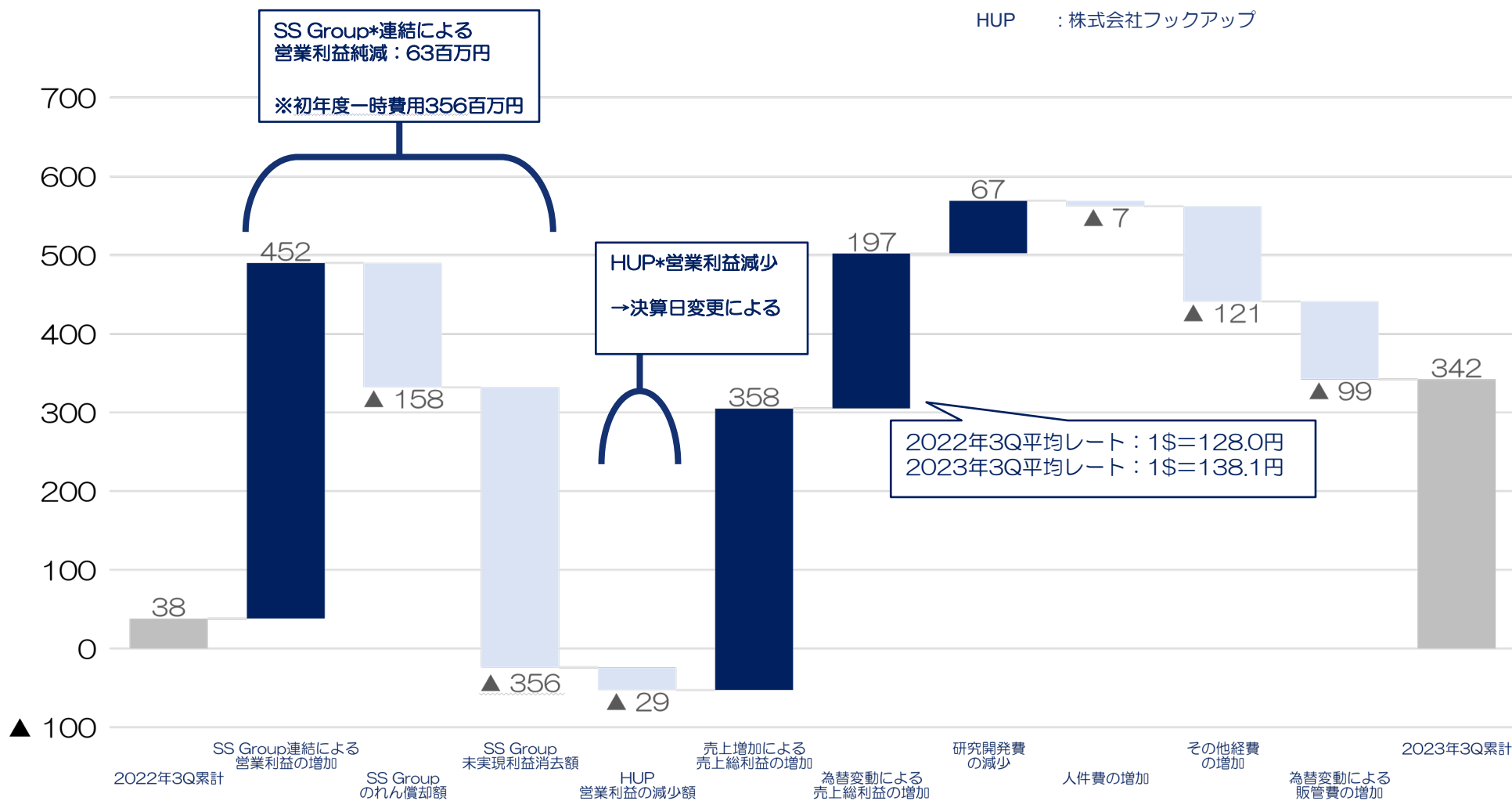
	2022.12期 3Q実績(シェア)	2023.12期 3Q実績(シェア)	増減額	売上高の増減要因
中央ヨーロッパ※1	824 (9%)	4,595 (36%)	3,770	<ul style="list-style-type: none"> • Sound Service Groupの連結子会社化による売上増加 • 前期は販売代理店や小売店の在庫調整により売上が減少
北米	2,980 (34%)	2,981 (24%)	1	<ul style="list-style-type: none"> • 景況感の悪化から夏商戦が不調に終わり、販売代理店や小売店の在庫調整により売上が減少したものの、円安効果により売上は前年同期並み
南ヨーロッパ※2	1,565 (18%)	1,841 (15%)	276	<ul style="list-style-type: none"> • 円安により売上が増加 • 前年同期は現地販売代理店の在庫調整により売上が減少
日本	2,147 (24%)	1,766 (14%)	▲381	<ul style="list-style-type: none"> • 決算日変更によりフックアップの売上は478百万円減少。(前年同期は12ヶ月分を取込んだ一方、当期は9ヶ月分を取り込んだため減少) • ZOOM製品は新製品効果等により97百万円売上が増加
中国	201 (2%)	217 (2%)	15	
その他	1,115 (13%)	1,209 (9%)	94	<ul style="list-style-type: none"> • フィリピン+60M、オーストラリア+51M
合計	8,835	12,612	3,777	

※1. 中央ヨーロッパは、ドイツ、イギリス、ベネルクス3国、オーストリア、ポーランド、チェコ、スロバキア、バルト3国等を含む地域

※2. 南ヨーロッパは、イタリア、フランス、スペイン、ポルトガルを含む地域

営業利益の増減分析 (百万円)

* SS Group: Sound-Service Musikanlagen-Vertriebsgesellschaft mbH
 及びSound Service MSL Distribution Limited
 HUP : 株式会社フックアップ



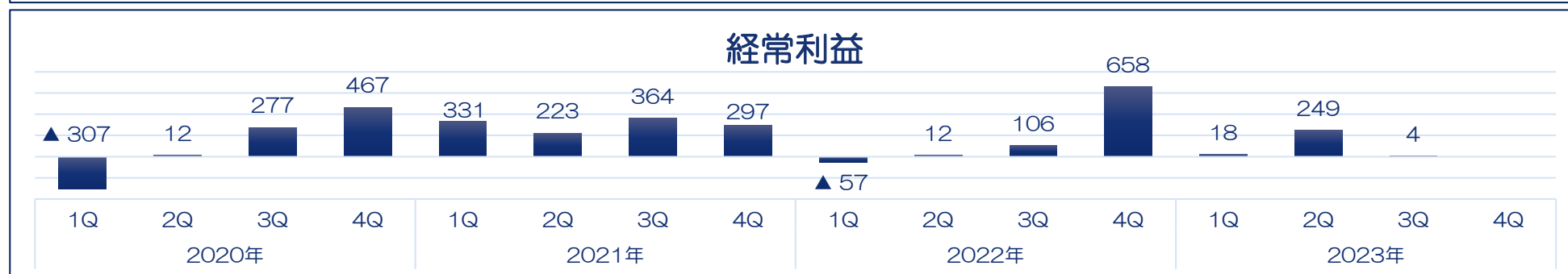
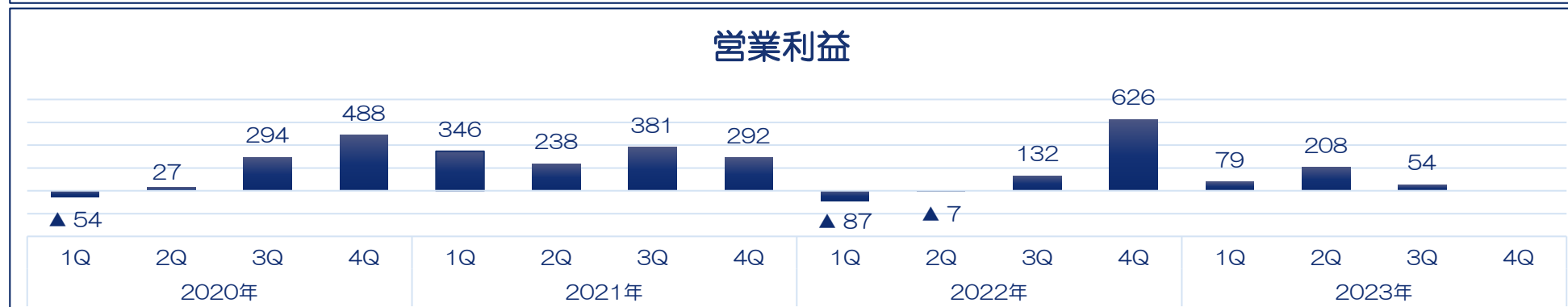
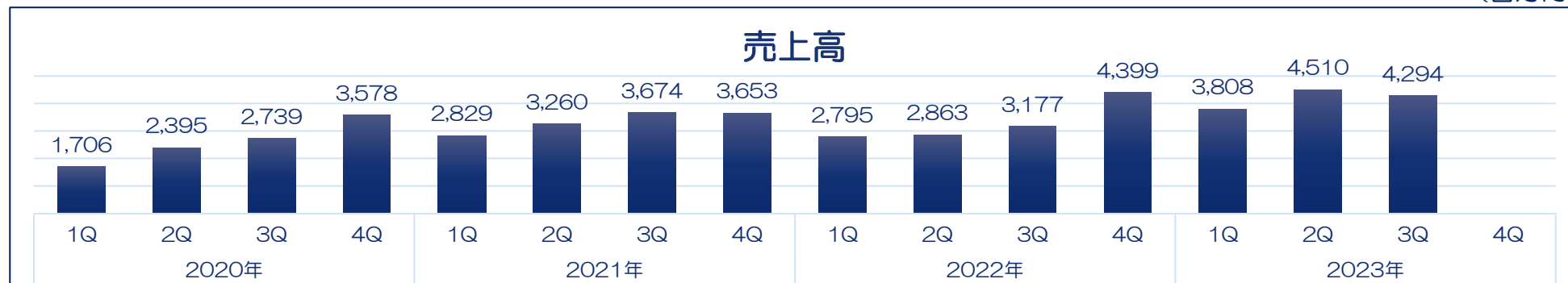
2023年12月期 第3四半期 連結貸借対照表（要約）



（百万円）

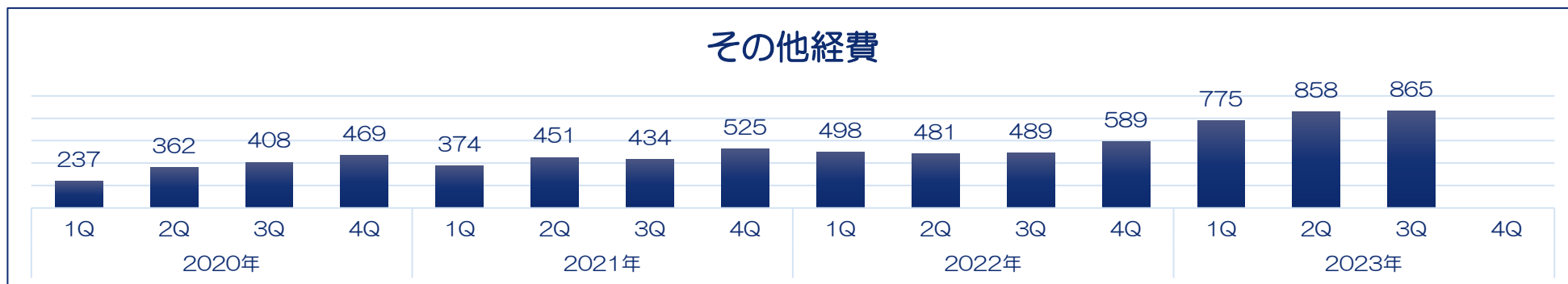
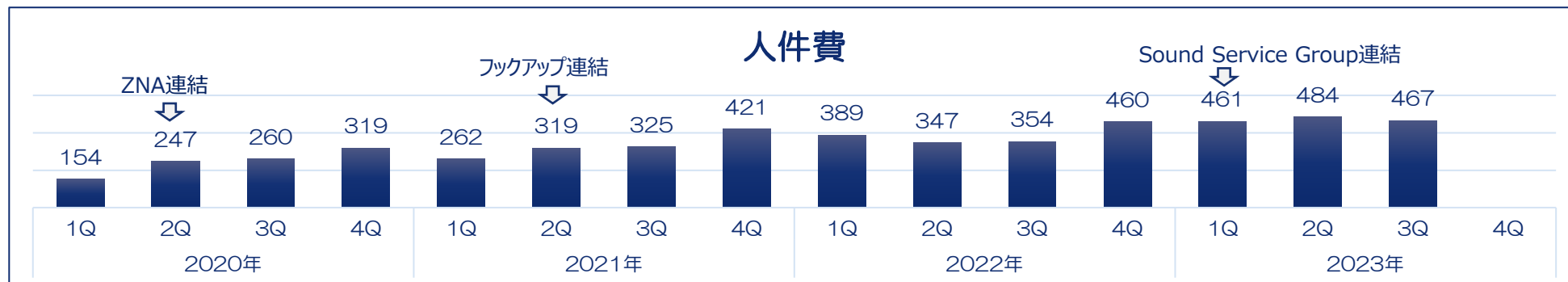
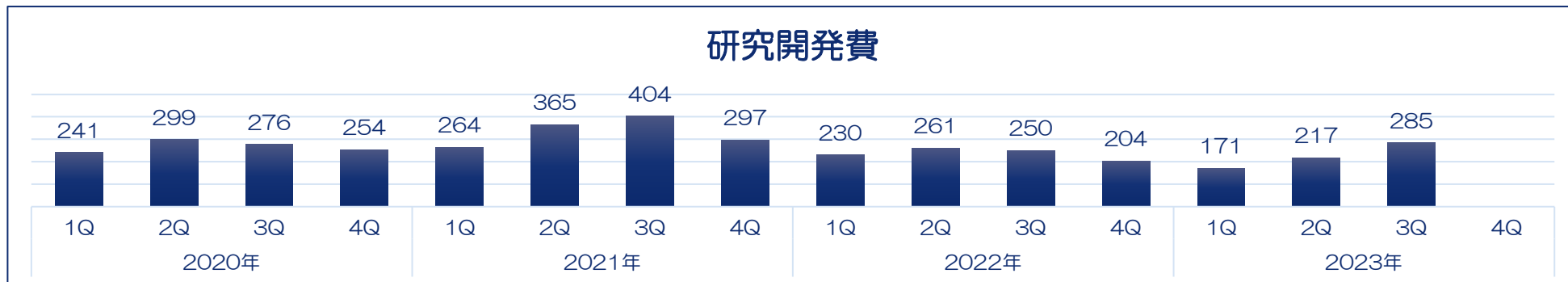
	22.12期末	23.12期 第3Q末	増減額	主な増減要因
流動資産	10,841	14,000	3,158	
現預金	2,171	2,999	828	
受取手形及び売掛金	2,109	1,807	▲301	売掛金の回収による減少
商品及び製品	4,013	7,258	3,244	Sound Service Groupの連結子会社化による増加（+2,680百万円）
原材料及び貯蔵品	1,288	1,045	▲242	
固定資産	2,808	5,856	3,048	
有形固定資産	647	1,514	866	Sound Service Groupの連結子会社化による増加（+895百万円）
無形固定資産	1,437	3,463	2,025	Sound Service Groupの連結子会社化により、のれんが2,044百万円増加
投資その他の資産	723	879	155	
資産合計	13,650	19,857	6,207	
流動負債	5,907	7,684	1,777	
買掛金	1,080	1,790	710	Sound Service Groupの連結子会社化による増加（+381百万円）
短期借入金	2,513	3,379	866	Sound Service Groupの連結子会社化による増加（+632百万円）
固定負債	1,152	4,271	3,119	Sound Service Groupの連結子会社化による増加（+920百万円） Sound Service社株式取得資金の借入により長期借入金が2,192百万円増加
負債合計	7,060	11,956	4,896	
資本金	212	212	-	
純資産合計	6,590	7,900	1,310	Sound Service Groupの連結子会社化により、非支配株主持分が1,112百万円増加
負債純資産合計	13,650	19,857	6,207	

(百万円)



欧米の景況感の悪化から夏商戦が不調に終わり、販売代理店や小売店の在庫が増加
その影響により、例年に比べて受注が減少したため、第3四半期の売上が伸びず

(百万円)



Sound Service Groupの連結子会社化により人件費・その他経費が増加

利益の達成率は低いものの、年末商戦を見据えて通期の業績予想は変更せず

(百万円)

	22.12期 実績	23.12期				
		予想	増減額	増減率	3Q実績	達成率
売上高	13,235	18,000	+4,764	+36.0%	12,612	70%
営業利益	664	1,200	+535	+80.7%	342	29%
経常利益	720	1,100	+379	+52.7%	272	25%
親会社株主に帰属する当期純利益	377	400	+22	+5.9%	▲81	-
EBITDA	1,111	1,980	+868	+78.2%	954	48%

一株当たり当期純利益	88.36円	92.68円	+4.32円	+4.9%
一株配当	50円	30円	-	-
配当性向	56.6%	32.4%	-	-
為替レート (円/米ドル)	131.4円	130.0円	-	-

※ 為替感応度（為替相場の変動が年間利益に与える影響）：1円の円高（円安）で営業利益が約22百万円減少（増加）

2023年12月期の配当は1株当たり30円とする予定です（変更なし）

配当につきましては、株主の皆様への利益還元を重要な課題と認識しており、事業年度ごとの利益の状況、将来の事業展開などを勘案しつつ、安定した配当を維持するとともに株主の皆様への利益還元に努め、配当性向30%前後を目安に安定的な配当を実施する方針としております。

配当の状況	20.12期（実績）	21.12期（実績）	22.12期（実績）	23.12期（予想）
親会社株主に帰属する 当期純利益	502百万円	854百万円	377百万円	400百万円
配当金総額	138百万円	218百万円	214百万円	130百万円
1株当たり年間配当 （分割考慮後）	31円	51円	50円	30円
配当性向	27.7%	25.6%	56.6%	32.4%

※今後の配当額は、上記方針に応じて変更となる可能性があります。

※2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を実施